

051

石灰石でできた「ストーンシート」を活用した 災害対策と社会貢献

取組主体

有限会社エイチ・ティープログレス

従業員数

1人

想定災害

全般

実施地域

東京都

- 石灰石を主原料とする「ストーンシート」を用いて作成した「抗菌・靴置きシート」を、令和2年7月豪雨の被災地における避難所の感染症対策として寄贈。防水、抗菌、防カビ機能を備えた「ストーンシート」の災害現場でのさらなる活用に向けて、研究開発を進めている。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

ストーンシートで製作した「抗菌・靴置きシート」を被災地に寄贈

- 印刷サービスを展開する有限会社エイチ・ティープログレスは、自社製品である、石灰石を主原料としたストーンシートによる「抗菌・靴置きシート」を、令和2年7月豪雨の被災地となった熊本県に1,000枚寄贈した。
- 地面にある菌やウイルスを靴底で踏み、そのまま歩いたり屋内に入ったりすることによって菌やウイルスが拡散してしまうという情報を得た同社は、抗菌性を備えるストーンシートに靴を置くことで、菌やウイルスの蔓延防止にも効果があるのではないかと考え、同製品を被災地へ寄贈した。
- 同製品は、抗菌性に加え、防水性と耐久性にも優れているため、軽度の汚れであれば洗って繰り返し使用することができる。既存の消毒マットのように消毒液を定期的に追加する手間も不要である。



寄贈された「抗菌・靴置きシート」

防水性を活かした「災害用ポケットガイド」の制作

- 同社は、紙の代用品として折り曲げや印刷が可能なストーンシートを用いて、自治体職員が常に携帯する「災害用ポケットガイド」も作成した。
- 防水性や耐久性に優れ、えんぴつで初動体制等に関するメモの書き消しができる同製品の特徴がニーズに合致し、令和2年、東京都中央区で導入された。



ストーンシートの特徴を活かした
ポケットガイドの作成

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 玄関や下駄箱に敷くことで、靴についた雑菌の増殖を抑え、下駄箱、玄関を清潔に保つことができるため、同社は、病院や介護施設、ホテル等での活用を進めていきたい考えである。
- ストーンシートは約5割が石灰石でできているため、焼却時にCO₂の排出量が半分に抑えられるという特徴を持つ。同社は、環境にやさしい紙の代用品として、さらなる活用を進めていきたい考えである。

3 現状の課題・今後の展開等

- 災害時にも強い印刷素材として、ストーンシートの活用の幅を広げられるよう、自治体における災害関連ポスターやリーフレット等を中心に、ストーンシートを用いた印刷物の提案を進めていきたいと考える。

担当者の声

- ストーンシートは地球環境問題に配慮し、SDGsにも貢献できる新しい印刷素材です。弊社はストーンシートの特性を活用し、様々な企業様と連携しながら、未来につなげる事業を進めてまいります。

問合せ先

有限会社エイチ・ティープログレス 法人番号：6011702016211
TEL：03-3675-8636 FAX：03-6875-4666 E-Mail：keiri.h@htc-p.co.jp

動画

